中期経営計画

2021年8月30日 株式会社ディー・エル・イー



中期経営計画の前提となる環境認識

外部環境

- スマートデバイスの急速な普及、ソーシャルメディア、動画配信・投稿 サイトなどの新たな成長メディアの興隆
- ARやVR、AIやブロックチェーンなどの新技術が急速に発達し、ブロックチェーンゲームなどの新たなサービスの普及
- メディア接触方法の多様化、コンテンツ視聴の短時間化、情報共有のリアルタイム化
- ・ 個人の嗜好の多様化、ECの浸透に伴うD2C市場の拡大
- 新型コロナウイルス感染症によるライフスタイルの変化及び不透明性 の高い経済状況

DLEグループ

- 朝日放送グループ、DLEグループシナジーの一層の追求
- 新規I P・コンテンツ・ブランド事業開発のための機動的な体制の構築
- デザイン、ブランディング、マーケティングに強みを持つグループ会社
- 新規事業開発・投資を継続
- ・ グループ管理体制の整備・強化



次期3か年経営目標

■ 2024年3月期 売上高40億円程度、営業利益率10%

<重点施策>

- 新規IP・コンテンツの開発、取得
 - プロデュース、マネタイズ機能による新たなコンテンツ、クリエイターの発掘
 - 営業提案の幅の拡充、既存事業のブラッシュアップ
 - ▶ 顧客に対する付加価値の増加
- 2. 新規IP・コンテンツ・ブランド事業の拡大
 - 多様、多才なバッググランドを有する人材を確保
 - > 新規事業開発、新規事業投資に対する必要資金の確保
 - デザイン、ブランディング、マーケティングの積極的な活用
- 3. グループ連携
 - ▶ DLEグループ内での協業による活性化
 - ➤ ABCテレビをはじめとする朝日放送グループ各社との連携推進



朝日放送グループ=総合コンテンツ事業グループ



DLE = IP & ブランドビジネスプロデュース集団

多様なIPビジネスプロデュースノウハウを有する少数精鋭集団として、朝日放送グループのコンテンツ事業成長を牽引、IP開発、新規投資に寄与

IPビジネスをキャッシュカウ化し、そのIPビジネスプロデュースノウハウをブランドビジネスプロデュースへ応用展開

多数のブランドを擁したビジネスプラットフォームを構築し、国内外有力パートナーとのブランドビジネスプロデュースを展開



IP開発・ビジネスプロデュースの領域においてグループ貢献しながら成長

IP開発

ビジネスプロデュース

DLE

IPを自社開発し、マスメディア外 (SNS等)でファンを醸成 グループ内コンテンツ資産を活用した多様なビジネスを機動的にトライアル

朝日放送 グループ各社

マスメディア含むクロスメディア展開し、IPパワーをブースト

成功したビジネスモデルの水平展開





メリット

IP開発における成功確率の向上

コンテンツビジネスプロデュースモデルの多 様化



中期ロードマップ

	次期3か年			2025年3月期
	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	以降
売上高	18億円	29億円	39億円	50億円超
営業損益	△2億円	0億円	4億円	5億円超
既存事業	先行投資	投資回収	キャッシュカウ	キャッシュカウ
新規事業	先行投資	先行投資	投資回収	キャッシュカウ



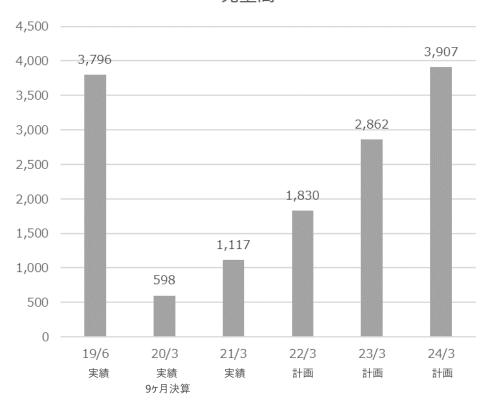
売上高

<単位:百万円(四捨五入あり)>

営業損益

<単位:百万円(四捨五入あり)>

売上高



営業損益

